

平成23年4月

# 「安全・安心・ふくい」実感プラン



シンボルマスコット  
「リュウミーちゃん」

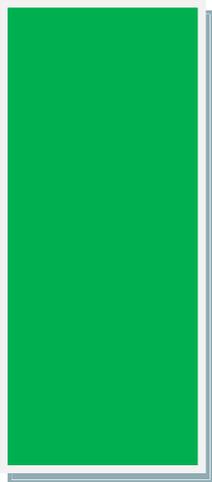


シンボルマスコット  
「リュウピー君」

福 井 県

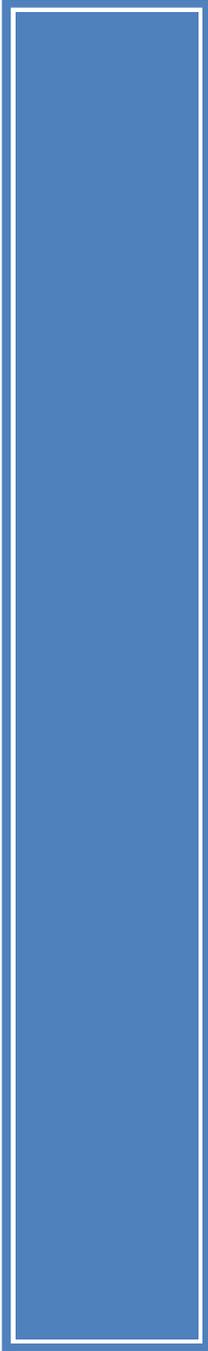
福井県公安委員会

福 井 県 警 察



# 目 次

「安全・安心ふくい」の実感を目指して	1
<b>I</b> プランの目的	2
<b>II</b> 基本目標	2
<b>III</b> 福井県の治安情勢	3
<b>IV</b> 取組項目	
1 犯罪の起きにくい社会づくり	6
2 子ども、女性を犯罪被害から守る	8
3 犯罪の徹底検挙	10
4 交通事故から県民を守る	12
5 テロ、大規模災害等から県民を守る	14
6 警察力の充実強化	15
別紙(治安に関する県民意識調査 2010 の実施結果)	17



## 「安全・安心ふくい」の実感を目指して

福井県の治安情勢は、平成21年4月に策定した「安全・安心ふくい」実現プランの取り組みなど継続した施策展開により、刑法犯認知件数を、過去最高であった平成14年の13,884件から8年連続で減少させ、平成22年には6,058件と、約56%の減少率（全国第1位）を達成しました。

また、検挙率も46.0%と全国上位（第9位）を引き続き維持するなど、数値面では治安の向上を実現しました。

しかしながら、平成22年は、強盗殺人事件を始めとする凶悪事件が61件と前年に比べ27件増加し、子ども、女性に対する声かけ事案等も後を絶たないほか、住宅侵入犯罪である忍込みが92件と前年に比べ31件増加するなど、治安情勢は依然として厳しい状態が続いています。

昨年、県警察が実施した「治安に関する県民意識調査2010」の結果でも、全国と比べた本県の治安については良いと感じているものの、空き巣などの住宅侵入犯罪、車上ねらい・自動販売機ねらい等の街頭犯罪、殺人・強盗・通り魔等の凶悪犯罪等に不安を感じており、未だ県民は安全や安心を実感できていないことが明らかとなりました。

さらには、昨今の不安定な景気・雇用情勢に加え、先般の東日本大震災のような未曾有の大規模災害の発生が、今後の治安に影響を及ぼすことも懸念され、治安環境の変化に対応した諸対策を着実に推進していくことが求められています。

そこで、このたび県、県公安委員会および県警察では、より治安の良さを実感できる安全で安心な福井県を目指すため、平成23年度からおおむね2か年を目処として、「安全・安心ふくい」実感プランを策定し、以下に掲げる施策・事業に取り組むこととしました。

# **I プランの目的**

治安の良さの実感

## **II 基本目標**

- 1 子どもや女性をはじめ、県民が安全で安心して暮らせるよう、地域みんなで力を合わせて犯罪の起きにくい社会づくりを推進します。
- 2 犯罪を徹底して検挙し、県民が治安の良さを実感できる社会を目指します。
- 3 交通ルールの遵守とマナーの実践を図り、高齢者の交通事故防止、飲酒運転根絶対策を強力に推進し、交通事故から県民を守ります。
- 4 関係機関と連携して諸対策を推進し、テロ、大規模災害等から県民を守ります。
- 5 治安環境の変化に鋭敏に対応するため、警察力の充実強化を図り、力強い・信頼される警察を確立します。



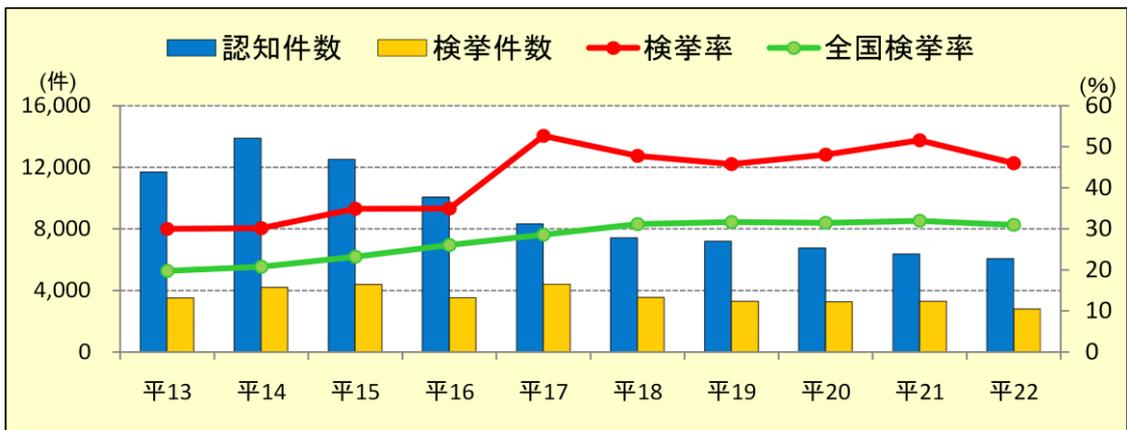
## Ⅲ 福井県の治安情勢

### 刑法犯認知件数・検挙件数・検挙率の推移

平成22年の刑法犯認知件数は6,058件で、前年より311件(4.9%)減少し、平成15年以降8年連続の減少傾向を維持しました。

また、過去最大数を記録した平成14年からの減少率は、全国第1位でした。

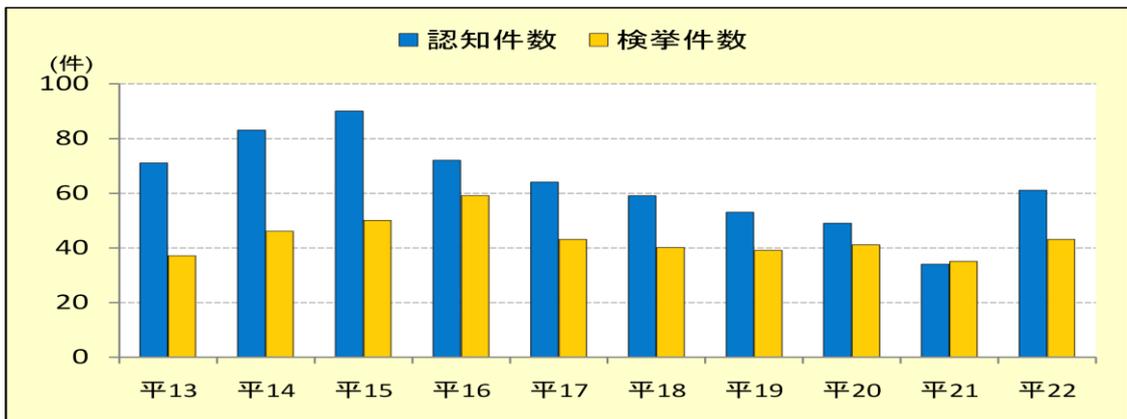
検挙率は46.0%と5.6ポイント減少したものの、全国第9位であり、平成13年以降、常に全国検挙率を上回っています。



### 重要犯罪の認知・検挙件数の推移

平成15年以降、重要犯罪の認知件数は減少傾向にありましたが、平成22年は61件で、前年より27件(79.4%)増加しました。

検挙件数は43件で、前年より7件(19.4%)増加し、検挙率は70.5%で、全国平均(62.8%)を上回りました。



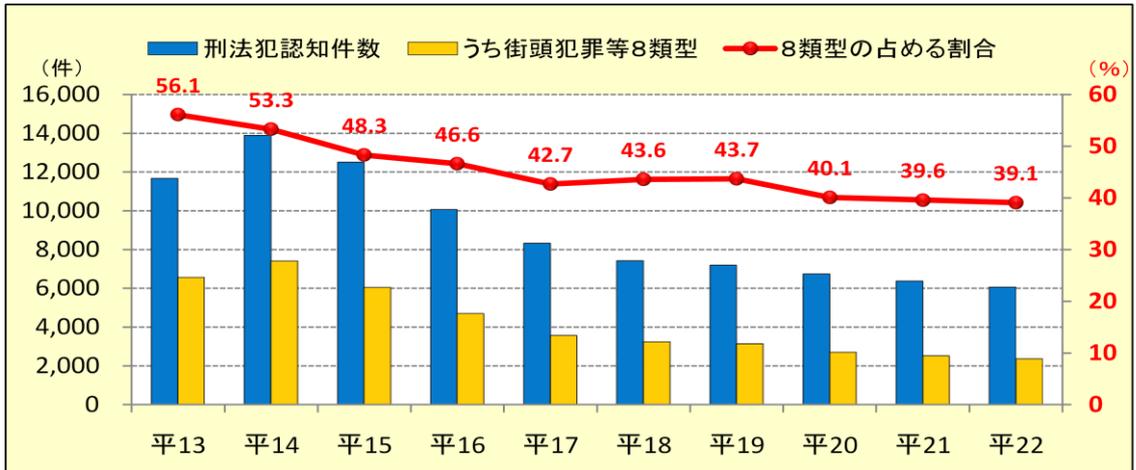
※ 重要犯罪：殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐、強制わいせつ



## 街頭犯罪等 8 類型の認知件数の推移

平成 22 年の街頭犯罪等 8 類型の認知件数は 2,369 件で、前年より 155 件 (6.1%) 減少しました。

刑法犯認知件数と同様、街頭犯罪等 8 類型の認知件数および 8 類型に占める割合も平成 14 年以降減少傾向にあります。

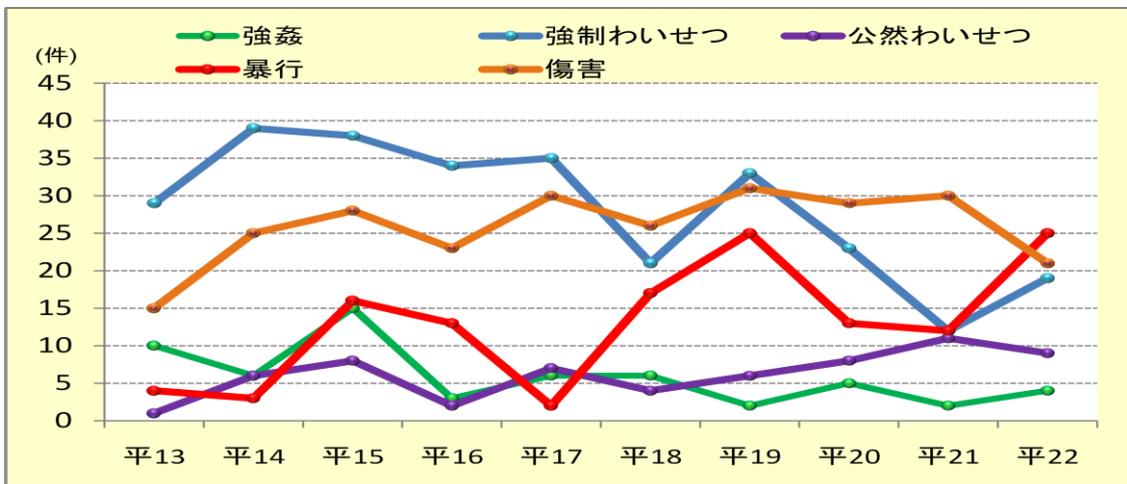


※ 街頭犯罪等 8 類型：車上ねらい、自動販売機ねらい、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、空き巣、忍込み、住居侵入

## 女性が被害者となる犯罪認知件数の推移

平成 22 年の女性が被害者となる犯罪認知件数は 78 件で、前年より 11 件 (16.4%) 増加しました。

罪種別では、特に暴行が 25 件と前年より 13 件 (108.3%) 増加しました。

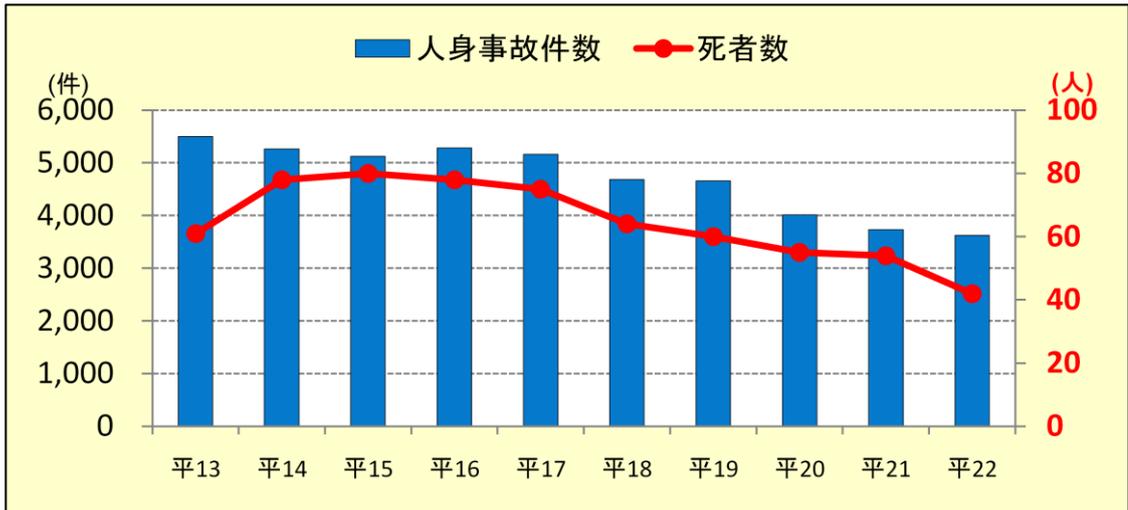




## 交通事故発生状況の推移

平成22年の交通事故死者数は42人（福井県は島根県に次いで全国2番目に死者数が少ない都道府県）で、7年連続減少するとともに、昭和32年以来53年ぶりに40人台となりました。

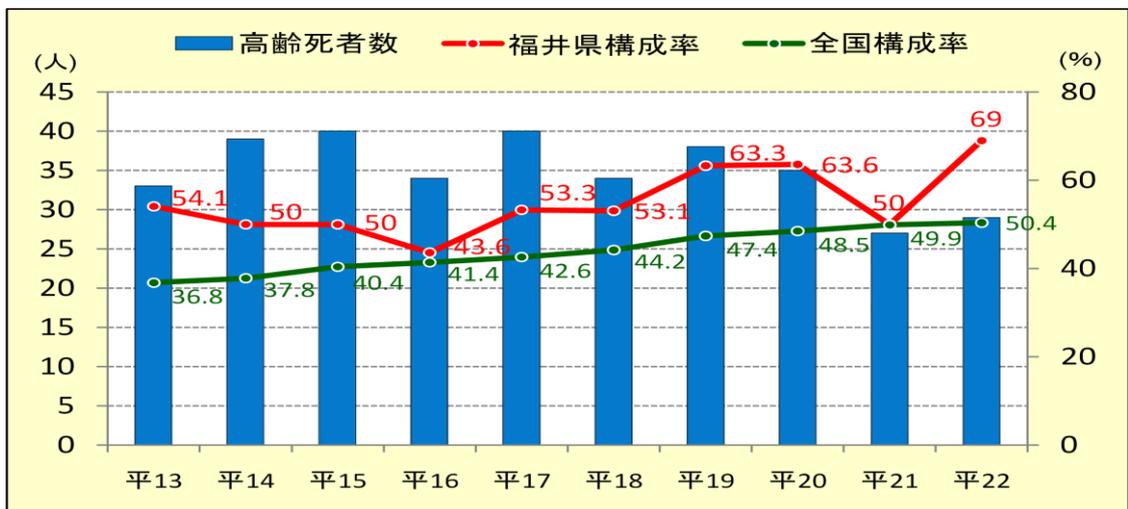
また、人身事故件数も6年連続で減少しました。



## 高齢者死亡事故の発生状況の推移

平成22年の交通事故死者のうち、高齢者は29人で、前年より2人増加し、また全死者数に占める高齢死者の割合も69.0%と、過去最も高い割合となりました。

全国構成率50.4%と比較しても約20%の開きがあり、高齢者対策を更に強化していく必要があります。



# IV 取組項目

## 1 犯罪の起きにくい社会づくり

### (1) 重層的な防犯ネットワークの整備

- 「福井県自転車盗難防止ネットワーク」や「福井県振り込め詐欺撲滅ネットワーク」など犯罪種別に着目した既存のネットワークを充実するとともに、治安情勢に応じ、子ども、女性、高齢者といった被害者対象ごとの新たなネットワークを整備
- 地域防犯団体と事業所の若い世代が協力した防犯活動を実施することによる地域防犯力の強化
- リュウピーネット、安全・安心マップ等による効果的な地域安全情報等の提供
- 「ふくいマイタウン・パトロール隊」や「青色回転灯を装備した車両による自主防犯パトロール」に対する支援
- 優れた防犯ボランティアリーダーの育成ときめ細やかな技術的支援の実施
- 深夜・早朝に配送業務を行う事業所等による自主防犯活動に対する支援
- 不審者の出没をけん制するため、県下統一デザインのマグネットシートや腕章の着用により見守り活動の「見える化」の推進



【防犯ボランティア活動】



【リュウピーネット】



【地域住民によるパトロール】

### (2) 社会の規範意識の向上と絆の強化

- 街頭防犯カメラを設置する商店組合や地域住民等に対する技術的支援などの実施
- サイバー空間の安全・安心を確保するための関係機関等と連携した広報啓発活動の推進
- 交通違反態様に応じた積極的な指導・警告および規範意識の向上を目的とした交通安全教育の推進
- 万引きなどの初発型非行をテーマとした非行防止教室の開催など、少年の規範意識向上を図る教育の推進
- 少年警察ボランティアとの連携を強化し、少年が使用する携帯電話フィルタリング100%の普及促進
- 少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動<sup>(注1)</sup>による再非行の防止

注1：過去に警察で非行少年として取り扱った少年及びその保護者に対して、積極的に警察から連絡を取り、再び非行に走りかねない状態である場合に、保護者の同意を得た上で少年が立ち直るべく必要な支援を行うこと。



- 家庭・学校・地域への情報発信活動や、官民一体となった犯罪抑止対策の推進などによる少年を見守る社会気運の醸成
- カラオケボックスやコンビニなど、青少年が深夜徘徊しやすい場所を中心としたパトロールにより、非行の芽を摘む社会環境づくりを推進
- 保護者に対する出前講座により、青少年をインターネット上の有害環境から守る対策を推進
- 幼児に対する防犯教室の開催など、幼少時からの規範意識や防犯意識を醸成



【少年立ち直り支援活動  
(アニマルセラピー)】



【街頭防犯カメラ (福井市片町地区)】



【インターネット出前講座】

### (3) 街頭犯罪等抑止対策の推進

- 「防犯モデル戸建て住宅認定制度」の普及・促進や福井県JAグループと連携した「農村鍵かけ運動」の推進による犯罪に強い住環境の整備
- 「福井県自転車盗難防止ネットワーク」や「福井県万引き防止ネットワーク」等と連携したゲートウェイ犯罪<sup>(注1)</sup>に対する総合的抑止対策の推進
- 「福井県振り込め詐欺撲滅ネットワーク」と連携した被害防止活動の推進
- パトロールや立番等警察官による見える・見せる活動の推進



【犯罪に強い家】



【振り込め詐欺被害防止活動】



【見える・見せる活動】

注1：万引きなど軽い気持ちで手を染めてしまう犯罪のこと。

## 2 子ども、女性を犯罪被害から守る

### (1) 犯罪被害から守る対策の推進

- 重大事案に発展するおそれのある声かけ、つきまとい等の前兆事案に対する先制・予防的警察活動の推進
- シンボルマスコット、カラーガード隊等を活用した子ども、女性を犯罪被害から守る防犯広報活動の推進
- 女性対象犯罪<sup>(注1)</sup>の被害防止に関する専門知識を有する人材の企業における育成
- 女性自身の防犯意識向上のため、事業所、学校等に出向いての「女性のための防犯講座」などの開催
- 被害防止意識の啓発のため、各学校等における不審者対応訓練の実施
- 被害防止対策の推進のため、各種関係機関・団体と連携した見守り活動の実施
- 「子ども重点見守りデー」を設定し、保護者も含めた地域ぐるみでの一斉見守り活動の実施による被害防止対策の推進
- 夜間暗く危険な通学路へのLED防犯灯の整備と県下全中学校区において下校時間における安全確保活動の強化
- 防犯活動団体への女性参加を働きかけ、女性目線での防犯活動の推進
- 女性を狙った犯罪が起こりやすい場所で、地域住民による帰宅時間帯重点パトロールの実施



【女性のための防犯講座】



【不審者対応訓練】



【リュウビー君による広報活動】



【女性を守るためのパトロール】

注1：強姦、強制わいせつ、公然わいせつなど、女性が被害に遭いやすい犯罪のこと。



## (2) 被害者支援の充実

- 専門的知識を有する女性警察職員の育成・配置による犯罪被害者への心情に配慮した対応の推進
- 犯罪被害の実態や被害者支援の必要性等に関する広報啓発活動の推進
- 福井被害者支援センター等との連携による被害者ニーズに応じた支援体制の充実
- 福井被害者支援センターなど相談窓口の周知により被害者が相談しやすい環境づくりの推進



【被害者心情に配慮した相談対応】



【被害者支援の広報啓発活動】



【福井被害者支援センターでの相談】

## (3) 警察安全相談の充実

- 女性相談者の立場に立った適切な対応を推進するため、レディースパートナー（女性警察官・職員）の育成
- 警察安全相談窓口の周知徹底と利用促進



【レディースパートナー】



【警察相談窓口の広報活動】



### 3 犯罪の徹底検挙

#### (1) 重要犯罪等の取締り

- 各種捜査支援システムの整備強化と積極的な活用による重要犯罪の徹底検挙
- 強姦、強制わいせつなど女性を対象とした卑劣な犯罪の徹底検挙
- 捜査支援機材の整備・活用による検挙活動の推進
- 他の都道府県警察との積極的な合・共同捜査の推進による広域窃盗事件の徹底検挙
- 的確な検視を実施するための体制の整備と人材の育成



【各種捜査活動】

#### (2) 街頭犯罪の取締り

- 侵入センサー等監視装置の整備による住宅侵入犯罪の徹底検挙
- 積極的な職務質問による街頭犯罪の徹底検挙

#### (3) 少年に係る犯罪の取締り

- 児童ポルノ事犯など福祉犯罪の取締り
- 児童虐待事案の早期発見・保護活動等の強化
- 暴走族の違法行為に対する取締りの徹底



【暴走族の取締り】

#### (4) 振り込め詐欺の取締り

- 取締体制の強化および他の都道府県警察との積極的な合・共同捜査の推進による犯行グループの徹底検挙
- 犯行グループに預貯金口座や携帯電話を提供するなど、振り込め詐欺の犯行を助長している犯罪の徹底検挙



【振り込め詐欺で使用された携帯電話】

## (5) 暴力団等反社会的勢力の取締り

- 「暴力団排除条例」や各種法令を活用した暴力団等反社会勢力の取締りおよび資金剥奪の徹底
- 「暴力団排除特別強化地域」における暴力団排除活動の徹底
- 地域・職域での暴力団排除気運の高揚による社会一体となった暴力団排除活動の推進
- 薬物・銃器事犯の徹底検挙による需要と供給の遮断および各種法令を駆使した収益の剥奪による犯罪組織の弱体化・壊滅
- 関係機関と連携した来日外国人犯罪組織の実態解明、取締り等犯罪のグローバル化対策の推進
- 犯罪インフラ<sup>(注1)</sup>に関する情報収集、事犯の検挙等犯罪インフラ対策の推進



【暴力団事務所捜索】



【犯罪のグローバル化】



【押収した大麻】

## (6) サイバー犯罪の取締り

- インターネット等を悪用するネットワーク利用犯罪<sup>(注2)</sup>など、サイバー犯罪に的確に対応するための体制の整備と人材の育成



【著作権法違反事件での押収品】

## (7) 生活経済事犯の取締り

- 悪質なヤミ金融事犯の取締りと迅速な犯行ツールの無力化対策の推進
- 悪質商法などの徹底検挙と関係機関と連携した被害防止活動の推進
- 量販店等において出張相談室を新たに設置するとともに、市町も利用できる弁護士等の専門家を配置した相談体制の強化

注1： 地下銀行（違法な海外送金システム）や偽装結婚など犯罪を助長し、容易にするもの。

注2： その実行に不可欠な手段として高度情報通信ネットワークを利用する犯罪のこと。

ネットワーク利用犯罪例： 詐欺（ワンクリック詐欺など）、児童買春・児童ポルノ法違反、わいせつ物頒布等、著作権法違反、商標法違反、福井県青少年愛護条例違反等

## 4 交通事故から県民を守る

### (1) 高齢者対策の推進

#### ア 歩行者・自転車利用者対策

- 街頭における交通安全指導啓発活動および個別指導の強化
- 危険歩行者を発見した場合の緊急通報を促す「交通安全“おたすけコール”運動」の推進
- 各種広報媒体を活用した反射材の普及啓発活動の推進
- 自転車シミュレータなど交通安全体験機材を活用した参加・体験・実践型の交通安全教室の推進
- 量販店や街頭などで高齢者の靴に反射材を貼付する「反射材ピカピカ作戦」による夜間事故防止活動の強化



【自転車シミュレータによる交通安全教室】



【反射材ピカピカ作戦】

#### イ 運転者対策

- 講習予備検査結果に基づいた記憶力や判断力低下の自覚の促進
- 出前型運転適性診断による身体機能低下の自覚と交通安全アドバイスの推進

### (2) 飲酒運転など悪質危険運転者対策の推進

- 交通事故に直結する悪質・危険性の高い飲酒運転、無免許運転、高速度運転等の取締りの強化
- 飲酒運転根絶気運の高揚のための広報啓発活動の推進
- 車両や酒類の提供者、同乗者など、飲酒運転周辺者に対する取締りの徹底



【交通違反取締り】



### (3) 交差点事故対策の推進

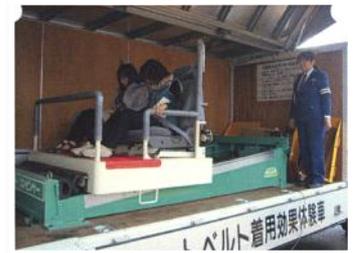
- 交差点における交通指導取締りの強化
- 「よく見て！交差点」広報隊等による事故の多い交差点等での安全運転の呼びかけの実施



【交差点での呼びかけ】

### (4) 被害軽減対策の推進

- 自動車の乗員すべてに対するシートベルト着用およびチャイルドシート使用の義務化の周知徹底
- 各種講習会などあらゆる機会を通じ、チャイルドシート使用およびシートベルト着用による被害軽減効果等の広報



【シートベルト着用効果体験】

### (5) スロードライブの推進

- 速度の出し過ぎを抑止するため、交通情報板等を活用した「速度注意報」、「速度警報」の発令および交通指導取締りの強化
- 主要道路の制限速度を超過しやすい場所で、スピードガンによる速度状況調査やスロードライブの呼びかけの実施



【速度注意報の発令】



【スロードライブ啓発活動】

### (6) 「脱！クルマ依存社会」の推進

- カー・セーブデーやパークアンドライドによる通勤時の車の利用を控える運動やイベント等の交通混雑時に自転車を利用できる環境整備の推進
- 「スマートサイクル宣言」<sup>(注1)</sup>による自転車のルール・マナー遵守の徹底
- 高校生に対する自転車シミュレータを活用した交通安全教室の推進



【みどりの自転車】

注1：安全で安心にかしこく（スマート）自転車を利用するために、傘差し運転や二人乗りはしない等のルールとマナーを守る宣言。

## 5 テロ、大規模災害等から県民を守る

### (1) テロ未然防止対策の推進

- 原子力関連施設、公共交通機関等に対する警戒警備の推進
- 拉致容疑事案等に対する捜査・調査を推進するとともに、沿岸警備協力会と連携した沿岸線の警戒の強化
- 爆発物原材料を取り扱う店舗、旅館、ホテル等に対して働き掛けを行うなど、関係機関と連携した諸対策の推進
- 海上保安庁や入国管理局、サイバーテロ対策協議会など関係機関との連携を強化し、実戦的な合同訓練によるテロ対処能力の向上



【原子力関連施設の警戒】



【沿岸警備協力会との連携】

### (2) 大規模災害対策の推進

- 自衛隊、消防等関係機関との合同訓練の実施による部隊員対処能力の向上
- 地震・集中豪雨等の大規模災害に備え、装備資機材を整備するとともに、災害情報を迅速に収集するための態勢の強化
- 大規模災害発生時、県民生活に係る警察業務を遂行するための警察情報の分散保管



【関係機関との合同訓練】



【災害情報収集訓練】



## 6 警察力の充実強化

### (1) 初動警察活動<sup>(注1)</sup>の強化

- 若い世代に対する実践的教養訓練や伝承教養の実施
- 通信指令システムの高度化など、通信指令機能の強化による組織的かつ効果的な初動警察活動の推進
- 初動警察における事案対応能力の向上
- 通信指令を担う人材育成の強化



【実践的教養訓練】



【通信指令システム】

### (2) 現場執行力の強化

- 気力・体力が充実した優秀な人材の採用・配置
- 若手警察官の早期育成と幹部の指揮能力の充実に向けた実践的訓練や伝承教育の推進



【技能指導官による伝承教養】



【若手捜査員の実践的訓練】



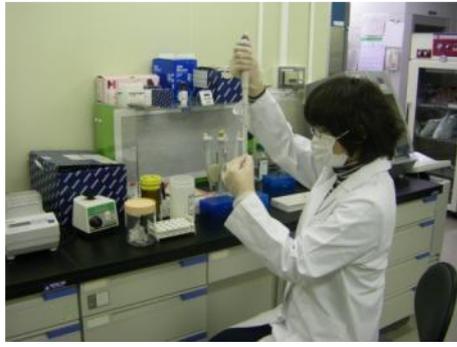
【術科訓練】

注1： 事件・事故に即応した初期的な警察活動のことで、その指揮に当たる通信指令を含むもの



### (3) 司法制度改革への的確な対応

- 裁判員裁判に対応する書類作成や証拠収集の徹底等に関する指導・教養の実施
- DNA型資料の徹底採取による鑑定と適正保管の実施



【DNA型鑑定】

### (4) 警察施設などの整備充実

- 適正捜査を推進するための取調べ環境の整備
- 地域の治安の要となる警察署や交番・駐在所など、大規模災害にも耐え得る警察施設の整備による現場執行力の強化



【新福井警察署イメージ図】  
(平成24年8月完成予定)

### (5) 交番機能の強化

- 自動車警ら班等と交番の連携による地域に密着した街頭活動の強化
- 警察分庁舎<sup>(注1)</sup>の活用による地域住民の安全性および利便性の確保
- 交番相談員の効果的活用の推進



【鯖江警察署丹生分庁舎】



【交番相談員の立番】

注1： 鯖江警察署丹生分庁舎（旧丹生警察署）および越前警察署今立分庁舎（旧今立警察署）の2か所

## 「治安に関する県民意識調査2010」の実施結果

### 1 目的

県民の治安に対する意識および県民が望む警察活動を把握し、平成23年以降の治安対策に反映させること

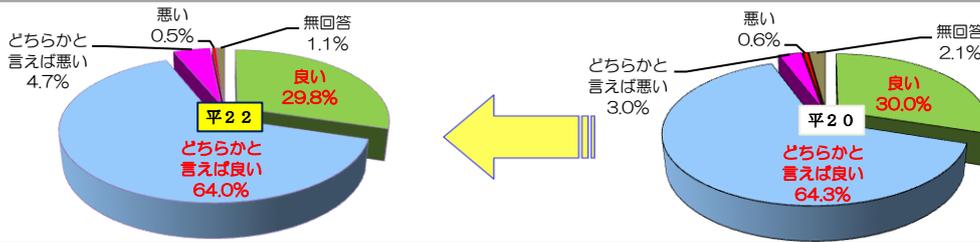
### 2 実施要領

- (1) 調査期間 平成22年10月～11月
- (2) 調査対象 県内在住の満20歳以上の県民2,188人が回答
- (3) 調査項目 全20問

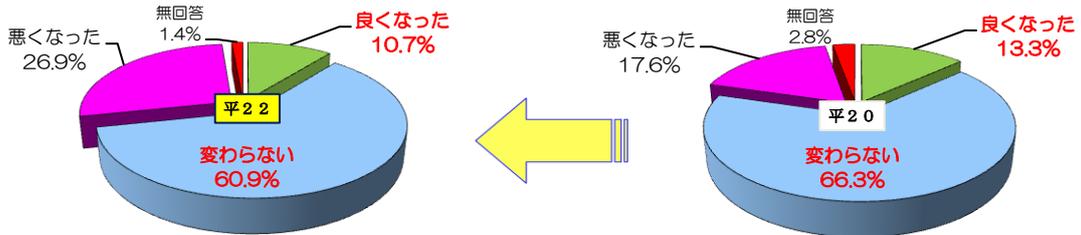
### 3 実施結果

- (1) 治安に関する意識
  - 回答者の9割以上が、全国と比べた本県の治安を「良い」と実感
  - 県内の治安は、2年前より「悪くなった」との回答が9ポイント増加
  - 県民が不安を感じる犯罪は、「住宅侵入犯罪」、「街頭犯罪」、「凶悪犯罪」
- (2) その他アンケート結果の概略については、次項のとおり

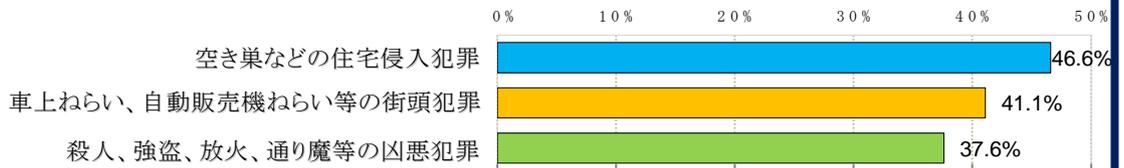
Q1 全国と比べ、福井県の治安をどう感じていますか。



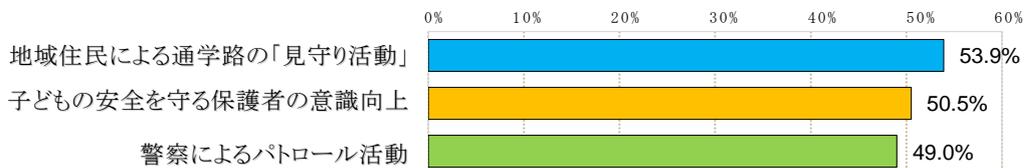
Q2 福井県の治安は、以前（おおむね2年前）と比べ、どう感じていますか。



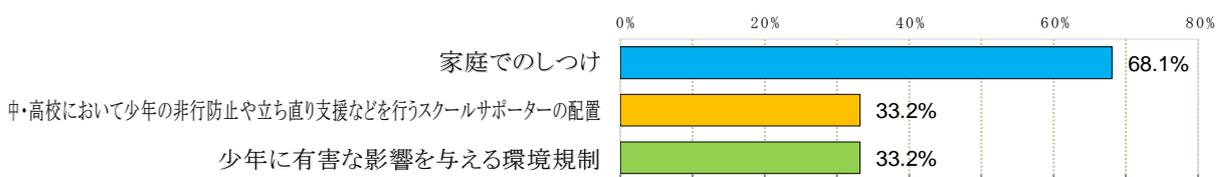
Q3 本県における治安について、不安に感じるものは何ですか。（複数回答）



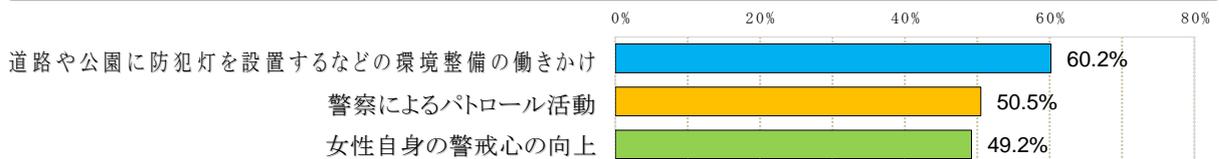
Q4 子どもの安全を守るため、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答）



Q5 少年非行防止対策として、もっと強化すべきものは何ですか。（複数回答）



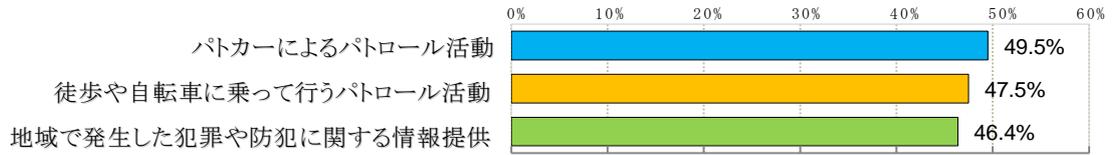
Q6 性犯罪から女性を守るため、もっと強化すべき具体的な対策は何ですか。（複数回答）



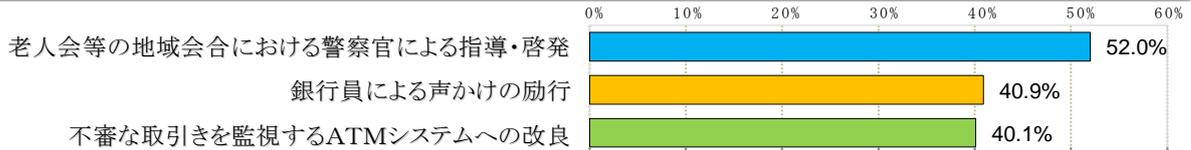
Q7 女性被害者の負担を軽減するため、もっと強化すべき具体的な対策は何ですか。（複数回答）



Q8 万引き、自転車盗、車上ねらい等の身近で発生する街頭犯罪への対策として、特に力を入れてほしいと思う警察の活動は何ですか。（複数回答）



Q9 振り込め詐欺に遭わないため、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答）



Q10 犯罪の起きにくい社会をつくるためには何が必要だと思いますか。（複数回答）



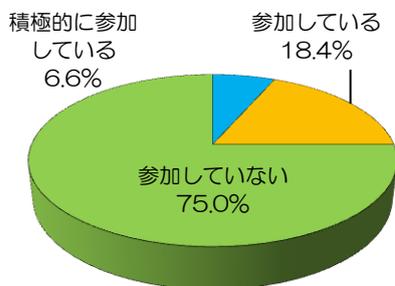
Q11 犯罪の被害を防止するため、どのような情報が提供されたら良いと思いますか。（複数回答）



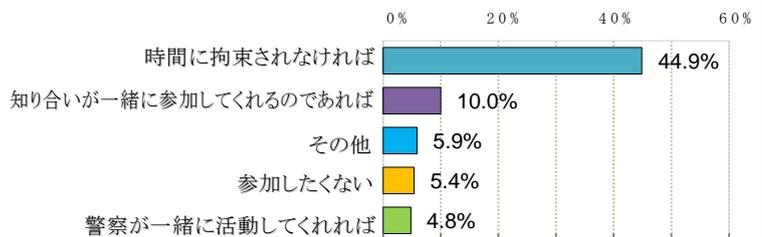
Q12 警察官がパトロールを行う際、どのような場所を重点的に行ってほしいですか（複数回答）



Q13 あなたは地域の見守り活動に参加していますか。また、「参加していない」と答えた方はどのような環境であれば参加しますか。



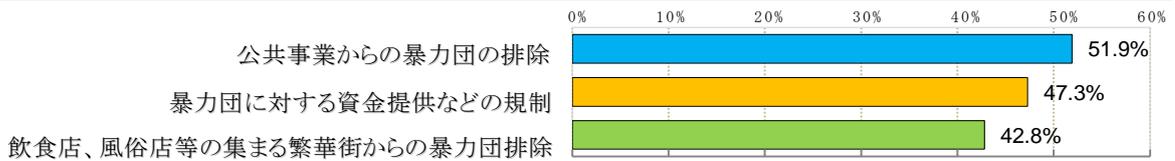
【参加しやすい環境】



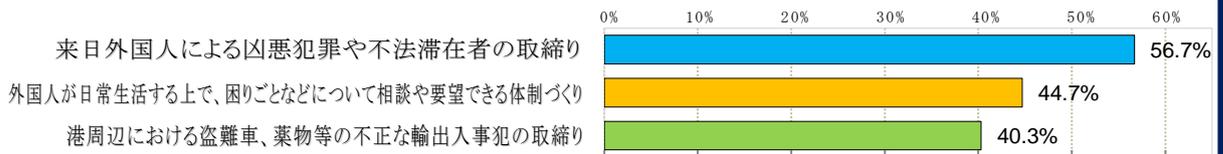
Q14 暴力団犯罪対策として、もっと強化すべきものは何ですか。（複数回答）



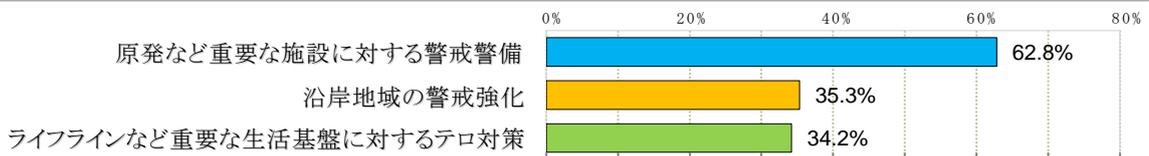
Q15 暴力団排除活動を促進するために警察に期待するものは何ですか。（複数回答）



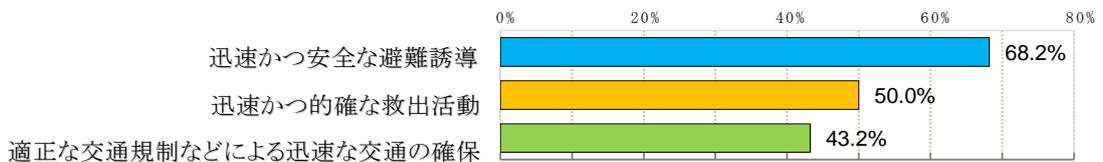
Q16 来日外国人犯罪対策として、もっと強化すべきものは何ですか。（複数回答）



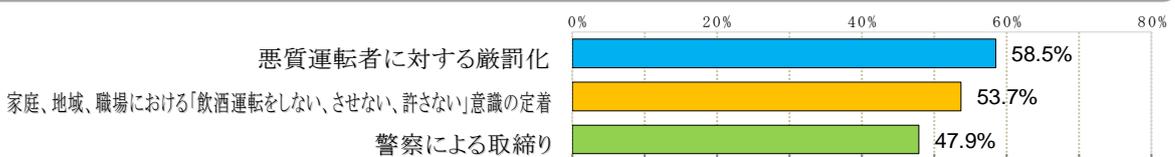
Q17 テロを防止するため、警察に期待する対策は何ですか。（複数回答）



Q18 災害対策に関し、警察に期待するものは何ですか。（複数回答）

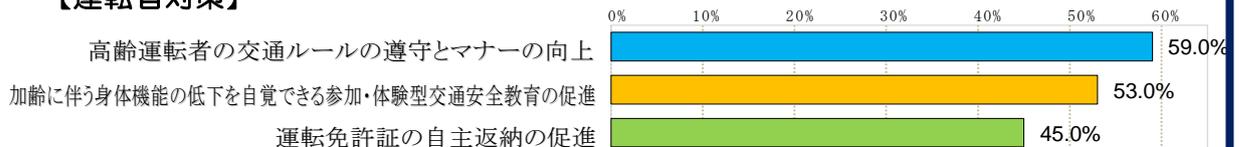


Q19 飲酒運転、ひき逃げ等悪質・危険運転者を排除するため、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答）



Q20 福井県では交通死亡事故の5割以上が、65歳以上の高齢者です。高齢者の交通死亡事故を防止するため、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答）

【運転者対策】



【歩行者・自転車利用者対策】

